

1、経営発達支援事業

※達成度 A：100%以上、B：80~99%、C：50~79%、D：30~49%、E：30%未満

項 目	実施状況	成果および課題	達成度	外部評価
I 地域の経済動向調査	<p>①地域金融機関の景況調査を利用して、地域の景気動向を6月、10月、12月に調査・分析した。業種別、規模別景況DIを抽出して、小規模事業者の現状と課題を把握した。</p> <p>②地域小規模事業者の経営の現状を把握するために、経営指導員による巡回指導に合わせて、小規模事業者経営実態調査を7月、10月、1月に実施した。 調査対象企業を、地区別・業種別に選定し経営指導員一人15社、合計75社を継続的に調査した。調査項目は、「売上」「仕入」「利益」「資金繰り」「雇用動向」とし、調査結果を分析し課題を抽出した。</p>	<p>小規模事業者経営実態調査件数は、毎年経営指導員一人当たり15件。 内訳は、地区内商工業者の構成比を考慮して、建設業4件、製造業6件(うち4件は自動車関連)、小売業2件、飲食業1件、サービス業2件。 専門家に集計分析を委託。調査結果を、商工会員に配布し、商工会ホームページに公開するとともに、セミナー開催時に配布した。また、経営指導員の相談指導時に利用した。</p>	A	<p>①地域金融機関の景況調査活用と並行して、経営指導員が会員企業を訪問調査し、自分達の皮膚感覚で、地域の景況感を把握した意義は大きい。</p> <p>②調査結果の活用では、商工会員に配布すると同時に、磐田市商工会ホームページ上でも情報発信したことは新しい「情報提供サービス」として評価できる。</p> <p>③経営指導員が巡回指導に当って、当該調査データを活用することにより、従来よりも一段と効果的な相談指導が期待できる。</p> <p>④今回の調査は、6、10、12月の3回であった。聴取の間隔が3ヵ月間のためか、「前回聴取時とはあまり変わっていない」との回答が多かった。次回調査では、6、12月の2回に変更しても調査目的は果たせると考えます。</p>

II 経営分析・需要動向調査

①巡回窓口指導等の経営改善普及事業により経営分析の必要な小規模事業者を抽出し、経営資源の内容、財務内容等の経営状況を把握し、他の支援機関と連携して貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書等をもとに経営分析を行い持続化補助金申請につなげた。

②新分野進出が課題の小規模事業者の指導を効果的に実施するために、地域の大手企業とのヒアリングを通じて集めた需要動向等を整理・分析し、経営指導員の巡回窓口指導のなかで提供した。

支援内容	目標	実績
巡回指導件数	2,500	1,500
講習会開催数	15回	16回
経営分析数	75件	59件
大手企業ヒアリング	5件	5件
開放特許の利用件数	3件	0件

経営分析件数は、「マル経資金」あっせん件数とした。

C

①巡回指導を1,500回実施し、会員の経営改善に貢献した。目標回数は大幅に下回った。目標値が適切か、検討を要する。

②巡回指導を行い会員企業の状況把握ができたことは、持続化補助金の案内や経営革新支援活動につながった効果もある。

③経営革新セミナーを3回開催した。セミナー間は半月程度取り、セミナー間に個別相談会等を行い、実践的な支援ができた。

④創業塾は3回シリーズとした。参加者から「具体的かつ実現可能な知識の習得ができた」との評価を得ている。

⑤販路開拓セミナーは2回シリーズとした。小規模事業者の新規受注拡大と新分野進出に貢献した。

⑥地域の大手企業5社を聴取調査した情報は、従来は未知の情報であり、経営指導員の巡回窓口指導のなかでの活用が期待される。

⑦開放特許の利用に関しては、会員企業への案内を行ったが、要望はなかった。

項 目	実施状況	成果および課題	達成度	外部評価																											
III 事業計画の策定・実施支援	<p>①事業計画策定等に関する講習会の開催により、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行った。</p> <p>②巡回指導、窓口指導時に、小規模事業者から相談等を受けるとともに、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行った。</p> <p>③事業計画策定を目指す小規模事業者の他、金融相談、ものづくり補助金、持続化補助金の申請時に事業計画の策定支援を行った。</p> <p>④小規模事業者の金融相談指導においては、日本政策金融公庫の従来からの「マル経」に加え「小規模事業者経営発達支援融資制度」の活用を促進し、相談は2件あったが、申込みには至らなかった。</p> <p>⑤事業計画策定後に、経営指導員によるフォローアップを実施し事業計画の進捗状況の確認を行うとともに、必要な指導・助言を行った。</p>	<table border="1" data-bbox="994 201 1559 443"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営計画策定講習会</td> <td>3 回</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>事業計画策定事業者数</td> <td>40 件</td> <td>97 件</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ</td> <td>80 回</td> <td>110 回</td> </tr> <tr> <td>新融資制度の斡旋数</td> <td>10 件</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>融資のフォローアップ</td> <td>20 回</td> <td>0 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「事業計画策定事業者数」は、持続化補助金申請者数（1次 53件 2次 44件） ※「フォローアップ数」は、（1次申請承認33件×2）と2次申請の合計</p>	支援内容	目 標	実 績	経営計画策定講習会	3 回	3 回	事業計画策定事業者数	40 件	97 件	フォローアップ	80 回	110 回	新融資制度の斡旋数	10 件	0 件	融資のフォローアップ	20 回	0 回	A	<p>①事業計画策定を目指す小規模事業者を掘り起こし、97社に対して持続化補助金申請の策定支援まで行った。持続化補助金は多くの会員企業が期待しているものであり、当活動は大いに評価できる。</p> <p>②事業計画策定後の経営指導員によるフォローアップを、目標80回を上回って110回実施した。事業計画の進捗状況の確認を行うとともに、必要な指導・助言を行ったことは大いに評価できる。</p> <p>③新融資制度に関しては、会員企業への案内を行ったが、他の制度を利用する企業が多く、新融資制度の斡旋は0件であった。従って融資のフォローアップも0件であった。</p>									
支援内容	目 標	実 績																													
経営計画策定講習会	3 回	3 回																													
事業計画策定事業者数	40 件	97 件																													
フォローアップ	80 回	110 回																													
新融資制度の斡旋数	10 件	0 件																													
融資のフォローアップ	20 回	0 回																													
IV 創業・経営革新支援	<p>①経営革新個別相談会は実施できなかったが、県連の専門家派遣事業を積極的に活用して小規模事業者の経営革新計画の策定を支援し、計画承認に結び付けた。</p> <p>②経営革新計画承認後、経営指導員によるフォローアップを徹底し、伴走型の支援を行った。</p> <p>③浅羽町商工会、森町商工会と連携して広域</p>	<table border="1" data-bbox="994 1091 1559 1445"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営革新個別相談会</td> <td>5 回</td> <td>0 階</td> </tr> <tr> <td>専門家派遣件数</td> <td>60 回</td> <td>266 回</td> </tr> <tr> <td>経営革新承認数</td> <td>5 件</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ</td> <td>5 回</td> <td>8 回</td> </tr> <tr> <td>創業塾開催回数</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>創業支援者数</td> <td>5 件</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>事業承継相談会</td> <td>1 回</td> <td>0 回</td> </tr> <tr> <td>事業承継支援件数</td> <td>5 件</td> <td>3 件</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	目 標	実 績	経営革新個別相談会	5 回	0 階	専門家派遣件数	60 回	266 回	経営革新承認数	5 件	4 件	フォローアップ	5 回	8 回	創業塾開催回数	1 回	1 回	創業支援者数	5 件	3 件	事業承継相談会	1 回	0 回	事業承継支援件数	5 件	3 件	B	<p>①経営革新個別相談会に代わる支援として県連の専門家派遣事業を積極的に活用し、経営革新計画の策定を支援した。</p> <p>②経営革新承認数は目標の5件には至らなかったが4件の承認を得たこと、及び承認後のフォローアップを充実させたことは評価できる。</p>
支援内容	目 標	実 績																													
経営革新個別相談会	5 回	0 階																													
専門家派遣件数	60 回	266 回																													
経営革新承認数	5 件	4 件																													
フォローアップ	5 回	8 回																													
創業塾開催回数	1 回	1 回																													
創業支援者数	5 件	3 件																													
事業承継相談会	1 回	0 回																													
事業承継支援件数	5 件	3 件																													

	<p>的に創業セミナーを開催して、創業希望者の経営に関する知識の向上を図り、創業計画の策定支援を行った。</p> <p>④創業後は、経営指導員によるフォローアップ、専門指導員による税務相談を重点的に行い、伴走型の支援を実施した。</p>		<p>③創業セミナーの参加者は18人。参加者には継続してフォローアップを行っている。</p> <p>④創業後の経営指導員によるフォローアップ、専門指導員による税務相談を重点的に実施していることは重要な活動であり評価できる。</p> <p>⑤事業承継に関しては、相談会は行わなかったが、個別に3件の支援を行っている。</p>
--	--	--	---

項 目	実施状況	成果および課題	達成度	外部評価												
<p>V 小規模事業者販路開拓支援</p>	<p>①小規模事業者のための販路開拓セミナーを開催した。</p> <p>②磐田市、磐田商工会議所と連携して「いわた産業振興フェア」を開催し、小規模事業者の販路開拓を支援するとともに、「魅力産業創造都市いわた」の認知度の向上を図った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販路開拓セミナー</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>展示・商談会開催</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>地区外展示会出展支援</td> <td>3社</td> <td>0社</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	目標	実績	販路開拓セミナー	1回	2回	展示・商談会開催	1回	1回	地区外展示会出展支援	3社	0社	<p>A</p>	<p>①販路開拓セミナーを2回開催し、参加者は27名であった。小規模事業者の新規受注拡大と新分野進出の支援が出来た。</p> <p>②「いわた産業振興フェア」には会員企業16社が出展した。自社をアピールできる機会となり、販路開拓の一助になった。</p> <p>③地区外展示会出展支援については、随時情報を提供した。出展希望者は独力で推進し支援の要望はなかった。</p>
支援内容	目標	実績														
販路開拓セミナー	1回	2回														
展示・商談会開催	1回	1回														
地区外展示会出展支援	3社	0社														

2. 地域経済の活性化に資する取り組み

項 目	実施状況	成果および課題	達成度	外部評価									
I 地域経済活性化事業	<p>磐田市、磐田市観光協会、磐田商工会議所と「磐田市活性化会議」（仮称）を年4回開催し、磐田市産業振興計画との整合性を図りながら今後の地域経済活性化の方向性を検討する計画であったが、実施できなかった。しかし、磐田市主催の「産業振興計画」検証のための「魅力支援会議」（3回）に参加した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="994 312 1263 347">支援内容</th> <th data-bbox="1263 312 1413 347">目標</th> <th data-bbox="1413 312 1563 347">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="994 347 1263 427">地域活性化会議開催</td> <td data-bbox="1263 347 1413 427">4回</td> <td data-bbox="1413 347 1563 427">0回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="994 427 1263 472">新地域活性化事業</td> <td data-bbox="1263 427 1413 472">試行開催</td> <td data-bbox="1413 427 1563 472">開催なし</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	目標	実績	地域活性化会議開催	4回	0回	新地域活性化事業	試行開催	開催なし	C	<p>①地域活性化会議は開催できなかったが、磐田市主催の「魅力支援会議」に3回参加した。地域経済活性化を図るには、他機関と連携して取り組むことが重要である。次期には是非とも活動するよう期待する。</p> <p>②他機関との連携とは別に、磐田市商工会単独でも「地域経済活性化」に資する取組みを検討しては如何か。</p>
支援内容	目標	実績											
地域活性化会議開催	4回	0回											
新地域活性化事業	試行開催	開催なし											
II いわたスイーツコンテストを契機とした特産品開発事業	<p>いわたスイーツ推進委員会を開催し開発の方向性を検討した。その結果、29年度は、生産量日本一を誇る「海老芋」を素材とした特産品の開発に着手することを決定。なお、スイーツコンテストは、日程の都合で開催できなかった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="994 785 1263 820">支援内容</th> <th data-bbox="1263 785 1413 820">目標</th> <th data-bbox="1413 785 1563 820">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="994 820 1263 865">スイーツコンテスト</td> <td data-bbox="1263 820 1413 865">1回</td> <td data-bbox="1413 820 1563 865">0回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="994 865 1263 900">推進委員会</td> <td data-bbox="1263 865 1413 900">6回</td> <td data-bbox="1413 865 1563 900">6回</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	目標	実績	スイーツコンテスト	1回	0回	推進委員会	6回	6回	A	<p>①特産品開発の対象を「海老芋を素材とした特産品の開発」にしぼり、委員会活動を推進している。特産品を開発するには長期間が必要であり、引き続き事業の進展を期待する。</p> <p>（特産品開発が主目的であり、「スイーツコンテストの開催」に囚われる必要はないと考えます）</p>
支援内容	目標	実績											
スイーツコンテスト	1回	0回											
推進委員会	6回	6回											